

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		成人記念祭開催事業				②事業番号		7610	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		⑦実施手法		〇 直営		〇 設定なし	
⑧関連予算科目コード		款		9		項		5	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		生涯学習課		会計	
⑪実施手法		〇 直営		全部委託		一部委託		補助・負担	
⑫その他		法令等の名称		—		—		—	
⑬細目		2		—		—		—	
⑭一般会計		—		—		—		—	

2. 事務事業の現状把握【DO】

[1] 事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 新成人		① 新成人数		人	
②		②			
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
市広報及び新成人に対しハガキで通知している。成人記念祭を、新成人の実行委員が中心になり、開催・運営を行っている。 一部式典(国歌斉唱・式辞・花束贈呈・祝福激励・祝辞・来賓紹介・祝電披露・新成人の主張) 二部アトラクション(吉本芸人によるステージ)		① 参加者数		人	
②		②			
③		③			
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
新成人に対し祝福、激励を行い併せて「権利と義務」について考える機会を与える。		① 参加率		%	
②		②			
③		③			
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
成人記念祭に参加することにより成人としての「権利と義務」の意識がめばえ青少年の健全育成につながる。		政策(章) 1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち			
		施策大(節) 4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします			
		施策中 3 青少年、子どもの健全育成			
		施策小 1 自主活動の支援			

[2] 各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	新成人数	人	712	764	770	770	770	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	参加者数	人	421	470	485	500	500	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	参加率	%	59	62	63	65	65	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.19	0.22	0.15	0.17		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.02	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	1,526	1,767	1,282	1,378		
	直接事業費	千円	590	609	605	605		
財源内訳	総事業費	千円	2,116	2,376	1,887	1,983		—
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,116	2,376	1,887	1,983		

[3] 事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	新成人に対し祝福及び激励を行うとともに、大人としての自覚を持たせるために始めた。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	式典の流れ、参加率については概ね変わらず行っている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

B

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	成人としての自覚を持たせている。大半は、成人としての自覚をもって今後の生活を考えている。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	市として、成人に対し「権利と義務」の啓発のために必要である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	対象範囲、新成人のニーズに合っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	市として、成人に対し「権利と義務」の啓発の機会がなくなる。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	約6割の参加者(出席率)を得ている。また、啓発も行っている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	式典及び、第二部の内容等の検討を行い参加者を増やすことで、啓発活動の充実を図る
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	新成人を対象とした、事業を行っているところはない。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	可能なものはすでにコスト削減を行っており、困難である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	式典参加者に負担を望むことはできない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	式典内容の工夫・検討により参加人数の増加に努める。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など		費用面で、これ以上の削減は難しい。一部の式典は継続して行うが、二部の内容で充実化を図る。 飲酒によるトラブルを防ぐため、警察署と連携を強化する。			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		一部の式典だけでは、参加者の増が望めない。交流会的要素を取り入れながら工夫していく。			